

建設常任委員会（平成27年2月3日）開催状況

開催年月日 平成27年2月3日（火）
 質問者 公明党 吉井 透 委員
 担当部課 建設部土木局道路課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>暴風雪により道東を中心に多くの路線で通行止めが発生して道民生活に多くの影響を与えております。</p> <p>日頃の道路管理を行う建設管理部の努力には敬意をはらいたいと思います。</p> <p>日常の点検管理が非常に重要と考えておりますが、近年注目される道路の空洞化対策について、まず質問してまいります。</p> <p>一 道路の空洞化対策について</p> <p>道路や橋などインフラの老朽化対策は全国的に喫緊の課題となっておりますが、それに伴う様々な問題も深刻化しており、平成24年度には、道道北見常呂線で路面下の地盤が大きく空洞化していたことが現場の維持担当者によって発見されましたが、大事に至らなかったことと承知しております。私としましては、昨年5月に当別町の道道で発見された、路面下の空洞箇所の補修現場を視察させていただきました。道では、平成25年より札幌建設管理部管内で試行的に路面下の空洞調査を始めており、今年度は室蘭、稚内、釧路建設管理部管内で調査を実施していると聞いております。</p> <p>そこで、道路の空洞化対策について伺ってまいります。</p> <p>(一) 今年度の路面下空洞調査の結果について</p> <p>今年度は3つの建設管理部で路面下空洞調査を進めているとのことでしたが、調査結果をまずお伺いをします。</p> <p>(二) 調査結果を踏まえた対応について</p> <p>調査により道路に空洞が発見されたということですが、対応状況についてお伺いをします。</p>	<p>○道路課長 岸 純太郎</p> <p>路面下空洞調査の結果についてであります。今年度は、室蘭、稚内、釧路の3建設管理部において、地震が多く道路下の液状化により空洞の発生が懸念される地域や、軟弱地盤上に構築された道路などにおいて、路面下空洞調査を実施したところでございます。</p> <p>その結果、釧路建設管理部管内の道道釧路鶴居弟子屈線において、陥没の恐れがある空洞が、3箇所発見されたところでございます。</p> <p>○道路課長</p> <p>調査結果の対応についてであります。釧路鶴居弟子屈線で空洞が発見された3箇所につきましては、車道舗装下すぐの路盤内における、直径が約1m、厚さが約20cmから40cmの大きさであり、速やかに道路を開削いたしまして、砂利を充填し早急に復旧したところでございます。</p> <p>そのうち2箇所につきましては、古い下水道管の亀裂にともなう路盤の吸出しと特定されたことから、下水道管理者が補修を行い、もう1箇所につきましては、原因が特定できなかったため、道において補修を行ったところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三) 今後の道路空洞化対策の取り組みについて 道路管理者として、大事故の可能性のある道路陥没に対し、未然に防ぐ調査と対策について、今後どのように取り組まれるのかお伺いをします。</p> <p>埋設物の施工等での土砂の吸出しが要因ということであり ますけれども、今後、非常に重大事故につながる可能性 もあるところもあると思いますので、しっかりと対応をお 願いをしたいと思います。</p> <p>二 地域高規格道路について 広域な本道において、高速交通ネットワークの形成は、 本道の経済活性化や災害時の物資輸送など重要な役割を担 っており、一層の整備促進が望まれているところでありま す。 現在、道内では高速交通ネットワークの形成に向け整備 が進められていると承知をしておりますが、その一例とし て、私は「北海道縦貫自動車道」、「北海道横断自動車道」と 「地域高規格道路 旭川十勝道路」の接続によって、道北、 道東、さらにはオホーツクがネットワーク化され観光や物 流など地域相互の交流が一層促進し、地域の発展に大きく 寄与していく、新たな経済圏にもなっていくものと期待を しております。そのためには、高規格幹線道路だけではなく、 地域高規格道路の整備も大変重要と考えております。 そこで、地域高規格道路について伺います。</p> <p>(一) 地域高規格道路の状況について 地域高規格道路の整備目的と北海道における状況につい てお伺いをします。</p>	<p>○土木局長 金田幸一 今後の取り組みについてでございますが、路面下 の空洞は、一般的に、地震や集中豪雨などによる土 砂のゆるみなどが原因と考えられますが、今年度の 調査結果におきましては、埋設物に起因した土砂の 吸出しなどが原因で発生していたものであり、下水 道管などの埋設にあたりましては、適切に施工管理 を行うよう、指導を徹底してまいりたいと考えてござい ます。 道といたしましては、今後、路面の陥没による重 大事故を防止するため、日常の定期パトロールはも とより、専門業者への委託による、危険な空洞の早 期発見に取り組み、安全な道路交通の確保を図って まいりたいと考えております。</p> <p>○道路課長 岸 純太郎 地域高規格道路の状況についてでございますが、 地域高規格道路は、高規格幹線道路と一体的に機能 する広域的な一般国道及び主要地方道の機能を高め るため、バイパス、拡幅等の事業を実施することに より物資の流通、人の交流の活発化などを促進する ものでございます。 平成26年3月現在、北海道におきましては9路 線・約538kmが指定され、そのうち72kmが 供用しているところでございます。 また、千歳市と小樽市を結ぶ「道央圏連絡道路」、 旭川市と占冠村を結ぶ「旭川十勝道路」、根室市と中 標津町を結ぶ「根室中標津道路」など6路線、79k mが、国と道により整備中となっているところで ございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(二) 道施工の地域高規格道路について 道内においては、現在6路線で地域高規格道路が事業中であるというご説明でありました。道が整備を行っている「根室中標津道路」と「旭川十勝道路」についてその効果をお伺いをします。</p>	<p>○道路課長 岸 純太郎 道が施工する地域高規格道路についてでございますが、道では「根室中標津道路」のうち別海町別海と中春別を結ぶ区間を「別海道路」として、来年度の完成を目指して拡幅整備を進めており、「根室中標津道路」の整備により中標津空港や重要港湾根室港へのアクセス向上、町立中標津病院への移動時間短縮による地域医療の充実などの効果が期待されるところでございます。 また、「旭川十勝道路」のうち、旭川市と東神楽町を結ぶ区間を「旭川東神楽道路」として整備を進めており、「旭川十勝道路」の整備により、旭川市内の医療施設への移動時間短縮による地域医療の充実や災害時の緊急輸送ルートの確保、富良野市をはじめとする主要な観光地へのアクセス向上、地元で生産される農産品の流通の利便性向上などが期待されるところでございます。</p>
<p>(三) 「旭川東神楽道路」について 「根室中標津道路」のうち、道が整備を行っている「別海道路」は来年度の完成を目指しているとのこと説明でありました。一方、「旭川十勝道路」のうち、道による整備が今後本格化する「旭川東神楽道路」について、その状況についてお伺いをします。</p>	<p>○道路課長 「旭川東神楽道路」についてでございますが、この道路は、旭山動物園などの観光拠点や物流拠点と北海道縦貫自動車道及び旭川空港を結ぶアクセス強化などを目的といたしまして、約10kmの区間につきまして4車線拡幅や急カーブの解消、道路の新設などの整備を行うものでございます。 当該事業は、平成25年度から事業に着手しておりまして今年度までに、用地買収や測量調査を進めるなど、早期の工事着工に向けて取り組んでいるところでございます。</p>
<p>(四) 今後の取組について 「旭川十勝道路」は、北海道が事業に着手している「旭川東神楽道路」以外にも、北海道開発局が「富良野道路」などに取り組んでおりますが、未着工区間も含めて「旭川十勝道路」全体の全区間の早期整備が待ち望まれているところであると思っております。 新たに建設される道路であり、ある程度の事業期間が必要なことは承知をしておりますが、「旭川十勝道路」の全区間の早期整備に向けて道として全力で取り組む必要があると考えております。道の考えをお伺いします。</p>	<p>○建設部長 下出 育生 今後の取組についてでございますが、「旭川十勝道路」につきましては、全延長120kmのうち、国が施工する「富良野道路」「富良野北道路」、道が施工する「旭川東神楽道路」、合わせて約24kmの区間で事業化されているところであります。 道といたしましては、「旭川東神楽道路」の早期の工事着工はもとより、現在、国が事業を進めている「富良野道路」「富良野北道路」の早期供用や未着工区間の事業着手につきまして、今後とも、市町村や関係団体と一体となって国などに強く働きかけてまいる考えでございます。</p>